

ぼくらのまちの消防団

Firefighting Team of our Town

～川内南分団～

団員の声

「いつか私も女性消防団員になりたい」と思っている娘の思いを知り深く感動しました。家族と職場の理解が大切な消防団の活動は、多くの職種の人と出会うことのできる貴重な場所でもあります。地域防災のために少しでもお手伝いできればと今後も頑張っていきたいです。

団員 **北原 勉**
きたはら つとむ

- 所属: 永利部
- 年齢: 43歳
- 職業: ケアマネージャー
- 趣味: 映画鑑賞

左から2番目 (職場の皆さんと)

仲間とともに

薩摩川内市消防団川内南分団 分団長 宮内 努

私たち川内南分団は、隈之城部・中福良部・永利部・宮崎部で構成し、隈之城および永利小学校校区の皆さまを災害などから守るために、団員が一丸となって活動しています。今年4月に、徳永前分団長から川内南分団を引継ぎ、分団長の職に就きました。

地域防災を担う消防団員であった父の背中を見て育ち入団した私は、生業を持ちながらでも「自分たちの町は自分たちで守る」という信条を持ち、地域防災に貢献していきたいと思っています。これまでさまざまな災害現場を経験し、消防団活動を通じて多くの方と知り合い、さまざまな経験ができたことは、消防団に入団しなければできなかったことでもあります。これからも地域防災の担い手として、市民のために、尽力できればと思います。

皆さんも自分たちの町を守るため、私たちと一緒に消防団で活動してみませんか。



消防局広報

編集: 薩摩川内市消防局 予防課

消防局ホームページ <http://www.satsumasendai-fd.jp/>

みんなの119

知ってる? 夏にひそむいろんなキケン

今から夏本番! 海水浴に花火にバーベキュー... そんな夏にも思わぬキケンがいっぱい。どんな危険が隠れているか考えてみよう!

風水害 自然災害に備えよう!

自然災害を人の力で防ぐことは困難です。被害を最小限に食い止めるために、次のことに気をつけましょう。

住宅チェック

- 瓦や外壁、トタンなどに割れやはがれはないか
- 窓や戸戸にガタツキはないか
- 植木鉢や物干し竿など飛散の危険がある物は屋内へ移動させる

自宅では

- 風や雨が強いときはむやみに外出しない
- 情報を注意深く聞き、早めの避難に心がける
- 懐中電灯や携帯ラジオは必需品
- 断水に備え、飲料水や生活用水を確保

屋外では

- 山鳴りや河川の水位低下、崖からの落石など、土石流やがけ崩れの前兆を見たらまず避難
- がけ下や河川、側溝などに近付かない

火災 電化製品に注意!

暑さを乗り切るための必需品といえば扇風機とエアコン。しかし、それらが原因で発生した火災があります。

扇風機・エアコンチェックポイント

- スイッチを入れてもファンが回らない
- ファンの回転が不規則
- 異常な音や振動がする
- モーター部分が異常に熱い
- 焦げ臭いにおいがする
- プレーカーが頻繁に落ちる
- 室内への水漏れがある
- 電源コードに傷や破れがあったり、プラグが異常に熱い

このような症状が見られたら **すぐに使用をやめメーカーや販売店に相談しましょう!**

消防写真館 一消防署社会科見学— 今年も多くの児童が消防署見学に訪れています Photo studio



消防ミニ図鑑 No.26 [5トン級重機]

消防活動で使用する資機材について紹介するこのコーナー。今回は、5トン級重機について紹介します。

これは、土石などを掘削するバケットのほか、木材や石材などをつかむ油圧旋回式フォーク、コンクリートなどを破碎する油圧ブレーカや小型切断機の交換用アタッチメントを装備しています。主に大規模災害や特殊災害現場において活動するもので、東日本大震災の教訓を踏まえ、総務省消防庁から本年3月に無償で貸与されました。

新消防庁舎建設進む!

中郷町5031番地1に建設を進めている消防局の新庁舎。6月末現在の工事進捗率は30.4%です。平成26年7月頃の本格運用を予定しています。

市民生活の安全・安心の象徴となる防災活動拠点を目指し、職員も全力で取り組んでまいります。

水難事故 遊泳禁止場所では絶対に泳がない!

毎年この時期になると水難事故で尊い命が犠牲になるニュースが報道されます。市内でも過去5年間で28件の水難事故が発生しています。ルールを守り、楽しい夏を過ごしましょう。

水難事故防止のポイント

- 遊泳禁止場所では絶対に泳がない
- 台風前や大雨の後は水辺に近づかない
- 遊泳中は、適度な休憩をとる
- 子どもだけで泳がない
- 釣りをする時はライフジャケットを着用する

溺れている人を見つけたら

- まず大声で助けを呼び、多くの人と救助する
- 助けを呼ぶ際は消防への通報も依頼する
- 泳ぎに自信があってもむやみに飛び込まず、竹竿や浮き輪、ロープなどを使い救助する

花火事故 花火の事故に注意!

夏の夜には、家庭で花火を楽しんでいる光景をよく見かけます。しかし、家庭で気軽に楽しめる“おもちゃ花火”でも正しく使用しないと火災、やけどなどの事故につながります。まさかと思いがちですが、以下の注意事項を守り夏の夜を楽しく過ごしましょう。

ルールを守って楽しい花火

- 風の強い日は花火遊びをしない
- 花火に書いてある遊び方、注意事項をよく読んで必ず守る
- 燃えやすいものがない安全な場所で
- 花火を人や家に向けて遊ばない
- 衣服に火がつかないように注意する
- 子どもだけで花火遊びをしない
- 水の入ったバケツなどを用意し、終わった花火(途中で消えた花火)はバケツの水につけ完全消火させる
- 花火は絶対にほぐさない